

／ おごりのまつりを考える ／

開催
レポート

ナイトトーク

第2回

アフターコロナのイベントについて話し合った「おごりのまつりを考えるナイトトーク」。

第2回は、2020年から「クリスマスマーケット in 小郡」を手がける松本良太さんをゲストに迎えて、活動への思いなどをお聞きしました。

松本さんから

仲間の手を借りながら。

ひとりでできることは限られているので、積極的に周りの力を借ります。できる人ができることをすることが大切と思っています。



こだわりたいのは、本物の価値。

クリスマスマーケットで大切にしているのは、本物の価値の追求。お金をいただく以上、趣味の延長ではなく商売としてきちんと成り立つことを意識しています。

自分自身が、一番楽しんで。

小屋をペイントしたり、サンタクロースの格好をしたりと、出店者も楽しんで工夫してくれているのが嬉しい。もちろん発起人の自分自身が、一番楽しみたいという気持ちで作っています。



クリスマスマーケットの様子



参加者から

にぎわいを作るには、滞在して楽しめる仕掛けが必要かも。

イベントを企画したいと思っても、場所のこと、人手のこと、手続きのことなど壁がたくさん。相談できる窓口や仲間が見つかれば、実現が一步近づきそう！

市外の人がわざわざ来たくするようなスポットを作りたいな。

加地市長から

- ・ イベントを作りたい人が、小郡にもたくさんいることに感激！
今回出会った人たちとも協力して、イベントづくりを応援する仕組みを作れたらいいですね。
- ・ 壁にぶつかっても、「どうしたらできるか」を前向きに考える。初心を大切に！

